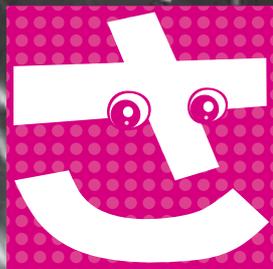


こうほう



Kouhou

Sarabetsu

らべつ

2011

9

No. 588



絆

をつなぎ  
一つになって

特集 友好姉妹都市東松島市  
届け笑顔とメッセージ!



# VOICE

更別村の皆さんの声  
友好姉妹都市東松島市  
届け笑顔とメッセージ！



## 友好姉妹都市東松島市

# 届け笑顔とメッセージ！

3月11日に発生した東日本大震災で友好姉妹都市の宮城県東松島市も甚大な被害を受けました。  
村からは震災発生後、岡出村長、木山幸則村議会議長をはじめ、述べ24名の皆さんが被災地見舞いや復興支援という形で東松島市を訪問しています。震災から半年が過ぎた現在、阿部秀保市長を本部長とする東松島市震災復興本部を設置し、早期復興を目指す市民の皆さんが一丸となって頑張っています。  
そこで今回、同市に毎月「こつほうさらべつ」を送付していることから、広報誌を通じて被災された方に向けて、皆さんがどのように感じ、どのように思っているかを紙に書いて応援メッセージを届けたいと思います。  
更別小学校の6年生19名に協力してもらった笑顔とメッセージで、少しでも東松島市で頑張っている皆さんの励ましになればと願っています。



# 功 勞 者 表 彰 式

September 1, 2011



## 社会功勞者



加藤 秀紀 さん(上更別南区)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



川端 敬三 さん(町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



霜野 敬夫 さん(中央町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



高畑 直幸 さん(東栄区)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



松橋 隆英 さん(川区)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



小林 浩二 さん(柏町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



橋 哲也 さん(本町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



開村記念日にあたる9月1日、村の自治や安全・安心な村づくりなどに「努力とご貢献をいただいた方々の功績をたたえる村功勞者表彰式」が行われました。

式典では、岡出村長が受賞者へ表彰状と記念品を贈り、永年にわたり郷土愛で村の発展に寄与された功績は誠に大きく、敬意を表し感謝を申し上げますと挨拶。また、団体役員として多年にわたる功績をいただいた方に表彰を、村づくりに多額の寄付をいただいた方に感謝状がそれぞれ贈られました。

受賞者を代表して、佐藤義典さんが謝辞を述べ、それぞれの分野で永年にわたり務めることができたのも、先輩方をはじめ皆さんのご指導のたまものであり、心よりお礼申し上げます。本日を契機に更別村の発展のため微力ではありますが努力していきたいと思っておりますので、ご支援をお願いします」と受賞のお礼を述べていました。

## 自治功勞者



本多 芳宏 さん(東栄区)

更別村議会議員として  
多年にわたる功績



阿部 俊夫 さん(川区)

村営住宅委員会委員として  
多年にわたる功績



野島 隆 さん(別区)

表彰者選考委員会委員として  
多年にわたる功績



若園 榮一 さん(東栄区)

行政改革推進委員会委員として  
多年にわたる功績



佐藤 義典 さん(更別東区)

農業委員会委員として  
多年にわたる功績



岡出 信一郎 さん(更別南区)

農業委員会委員として  
多年にわたる功績



## 産業功勞者

## 社会功勞者



渡辺 正男 さん(上更別南区)

民生委員児童委員として  
多年にわたる功績



小川 誠二 さん(中央町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



石村 和也 さん(本町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



林 芳博 さん(錦町)

更別消防団員として  
多年にわたる功績



表彰  
の野島 隆 さん(更別区)  
感謝状  
の河村 俊二 さん(若葉町)

問い合わせ  
役場総務課課庶務・情報担当 ☎52-2111

# 消火器の破裂事故にご注意を！

7月に徳島県と鹿児島県で、腐食の進んだ消火器を操作したことにより、消火器が破裂し受傷したと見られる事故が相次いで発生しました。過去10年間に於いても、全国各地で製造からかなりの年数が経過した消火器が破裂するなど、重大な事故が発生しています。

消火器は火災時の初期消火にとっても有効ですが、サビや変形などでひどく老朽し、腐食の進んだ消火器は、いざという場合に使用できず、操作したときに破裂し受傷事故に至る危険があります。使用に耐えられなくなった消火器は、専門業者に廃棄処分を依頼し、新しいものに交換してください。

このような消火器を自分で解体したり、訓練用として使用することも絶対にやめてください。

## 消火器の設置場所や管理方法

- できるだけ風とおしがよく、目に付きやすい場所に設置する
- 直射日光を受ける場所を避ける
- 湿気が多い場所や雨水のかかる場所を避ける

## 消火器の処分方法

一般ごみとして処分できませんので必ず専門業者に依頼してください。更別消防では回収していません

問い合わせ・相談窓口

北海道消防設備協会帯広支部 ☎34 - 5951

社団法人日本消火器工業会 ☎(03)3866 - 6258

## なぜ消火器が破裂するのか？

消火器には大きく分けて蓄圧式と加圧式の2種類の消火器があります。

蓄圧式は、消火剤を充填した後、窒素ガスか乾燥圧縮空気を密閉し、レバーを握るとバルブが開きます。加圧式は、ガスボンベが容器の内部に設けられているもので、レバーを握るとボンベの封が破られ消火剤が放射されます。いずれの消火器も、その圧力で薬剤が放出されます。そのとき容器に腐食や変形があると、その部分が圧力に耐えられなくなり破裂してしまう場合があります。

## 悪徳訪問販売に要注意！

「消防署の方から来た」などといって消火器を高値で売りつけたり、消火器の点検業者と偽って高額な点検料をとるなどの悪徳訪問販売には十分注意してください。

問い合わせ

南十勝消防事務組合更別支署 ☎52 - 2201 FAX 52 - 2032

**7 風呂の空だきをしない**

点火のときは浴槽の水量を確かめて。点火、消火は目で確認する。

**8 コンセントにこまめな気づかい**

たこ足配線、コンセントまわりのホコリに注意。使わない時は、こまめに抜く。

**9 就寝前の火の用心**

ガスの元栓、コタツのコンセントなど指さし点検で火の元確認。

**4 放火をさせない環境づくり**

家の周りに燃えやすいものを置かない。物置や車庫のカギはしっかりと。

**5 強風の日のたき火は危険**

消火用の水を用意して。子どもだけでたき火をさせない。風のある日はやらない。

**6 マッチやライターで遊ばせない**

日頃のしつけをしっかりと。手の届く所にマッチやライターを置かない。

**1 ストープの周辺はすっきりと**

特にカーテン、洗濯物には要注意。石油ストーブの給油、移動は必ず火を消してから。

**2 揚げ物のときはその場を離れない**

電話や来客の対応は、必ず火を消してから。そばに燃えやすいものを置かない。

**3 寝たばこ、ポイ捨て厳禁**

寝たばこは、しないさせない習慣を。火の付いた、たばこの放置やポイ捨ても厳禁。

## No.1 火災をふせぐ

# シリーズ 防災対策

東日本大震災の発生を受け、改めて各家庭で防災対策への意識が高まっています。村では、平成14年10月の台風21号によって床上浸水、風倒木、農作物に多大な被害をもたらしました。平成15年9月には十勝沖地震が発生し、村では震度5強が観測されています。地震、台風、火災などの災害は、

いつ、どこで起きてもおかしくありません。日頃から、災害に対して意識しながら生活することで、防災につながり、更には減災にもつながっていきます。防災対策について、今日から始められることや、更別村防災のしおりから、簡単にできる防災対策を抜粋して紹介しますので、生活習慣として身に付くよう実践してください。

**7 アンテナをしっかりと固定**

テレビアンテナなどに支線を張って風で倒れないようしっかりと固定する。

**8 停電の備えをしっかりと**

電池の予備の補充やトランジスタラジオ、懐中電灯の準備をする。

**5 ベランダにあるものをしまう**

物干し竿、植木鉢などが飛ばされないようベランダにあるものを屋内に入れる。

**6 木が倒れないよう事前に確認**

庭木に支柱をたてて補強したり、折れかかっている木は事前に伐採する。

**3 家の周りもしっかりと確認**

家の周りを確認し、飛ばされそうなものがあれば固定したり屋内に入れる。

**4 飛来物から家を守る**

雨戸のない窓やガラス戸に、板などを打ちつけ、飛来物による破壊から守る。

**2 補強や破損箇所を事前に確認**

煙筒の支持補強や屋根のトタンに破損箇所がないか事前にチェックする。

**1 危険な液体はしっかりと固定**

納屋や物置などのガソリンや農薬が流出しないよう、しっかりと固定する。

## No.2 台風にも備える

8月19日に今年度第2回目の行政区長会議が開催され、村の施策などについて岡出村長や担当課長から説明が行われました。話し合われた議題のうち主な案件をご紹介します。

■平成23年度政策事業  
 村長・村議会議員選挙が行われるため今年度の当初予算は骨格予算として経常経費、継続的経費と緊急性を要する経費のみが経常されています。選挙後行われた6月村議会定例会で新たに今年実施される村の政策事業の予算が可決されました。



主な政策事業と予算  
 公営住宅建設事業 実施設計  
 若葉団地2棟(8戸)  
 ・1千60万2千円

特定環境保全公共下水道事業  
 (浄化センター太陽光発電設計委託及び設置工事)  
 ・8千43万円  
 道路改良舗装事業 改良2千147㎡(舗装600㎡など)  
 ・8千290万6千円  
 どんぐり公園整備事業 プラマカントリー改修工事など)  
 ・1千888万7千円

グループホーム建設支援事業  
 (用地購入費・設計委託費補助金など)  
 ・1千138万8千円

■コミュニティ活動総合保障制度  
 村民の皆さんが安心して地域の活動を行えるよう7月1日から更別村コミュニティ活動総合保障制度に加入しました。  
 活動中に団体の指導者や従事者などが謝って第三者を負傷させた場合(賠償責任事故)や活動中に事故にあわれた場合(傷害事故)に補償金が給付されます。

■東日本大震災被災地心援  
 村の取り組みについて(広報7月号に掲載以降)、7月29日に東松島市へ第4次救援物資として、さらへつさんつどん5千370袋を提供。8月12日に第5次救援物資として『更別特産品詰め合せ』50セットを提供しています。

■高齢者福祉計画・介護保険事業計画  
 第4期更別村高齢者福祉計画と介護保険事業計画が平成23年度をもって終了することから、新たに平成24年度から平成26年度を計画期間とする第5期の計画を策定します。  
 グループホーム建設  
 NPO法人元気の里とかちが運営するグループホーム元気の里さらべつ」の施設が老朽化し、入居者の安全面の確保が難しいことや今後の施設利用者の増加に備えるなどの理由から、新たに移転開設を計画に盛り込み、この事業に掛かる費用を村が支援します。  
 建設場所：上更別バス停留所横  
 用地面積：約3千㎡  
 建物面積：約850㎡(18室)  
 供用開始：平成25年2月頃

# 地域包括支援センターにご相談ください



更別村地域包括支援センターは、地域の高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に行うため平成18年に役場保健福祉課の中に設置された機関です。

専門職員が配置された地域包括支援センターは、暮らしの相談窓口として皆さんがいつまでも健康やかに住み慣れた地域で暮らして行けるよう支援します。

## 地域包括支援センターが行う業務

### 介護予防ケアマネジメント事業

要支援1、2と認定された方に介護保険の介護予防サービス利用を支援します。また、支援や介護が必要となるおそれの高い方に、村での介護予防事業利用を支援します。



### 総合相談・支援事業

介護や福祉の各種制度、さまざまな地域の取り組みを活用しながら、住み慣れた地域で自立した生活を送るための相談に応じます。

### 権利擁護業務事業

高齢者の皆さんが安心して暮らしていただけるよう虐待の早期発見や成年後見制度の紹介、消費者被害などへの対応など高齢者の権利を保持できるよう支援します。

### 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域における医療機関やその他関係機関とケアマネジャーの連携体制を構築し、包括的・継続的ケアマネジメントが実現できるようケアマネジャーの後方支援を行います。

介護に関する相談、健康や福祉、医療や生活に関することの相談に対応します。「どこに相談すればよいのか分からない」といった悩みも、まずは地域包括支援センターにご相談ください。

## 定期相談を実施しています！

毎月第1・3水曜日に福祉の里総合センター相談室で定期相談を実施しています。お気軽にご相談ください。(定期相談日以外の日でもご相談に応じます。)



問い合わせ  
 役場保健福祉課内更別村地域包括支援センター(福祉の里総合センター内) ☎53-3000

## 秋の全国交通安全運動

9月21日(水) ~ 9月30日(金)

### ◆早めの点灯を

これからの季節は日没が早くなり、通勤や買い物など、夕暮れ時・夜間にかけての行動が多くなることから、例年この時間帯で事故が急増します。

辺りが薄暗くなり始めたら早めにヘッドライトを点灯してください。ヘッドライトは自分が見るだけでなく、相手に自分の存在を『見える』ものでもあります。早めに点灯し、お互いを確認しあつて、ゆとりのある運転を心掛けましょう。

### 重点項目

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止特に反射材用品などの着用推進や自転車前照灯の点灯の徹底)  
 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底  
 飲酒運転の根絶

9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です！

問い合わせ  
 役場住民生活課住民生活担当 ☎52-2112

# 保健だより vol.7

## テーマ 自分の歯でしっかり噛もう

「噛む」という行為は、歯の最も大切な役割の一つです。自分の歯でよく噛んで、ゆっくりと楽しみながら食べることは、心と体の健康を保ち、生活の質を高め、人生をより一層豊かにしてくれます。味や食感を楽しむことで心も豊かになり、噛む刺激は気持ちのリラックスにもつながります。この機会に『噛むこと』に対して意識してみてもいいのではないでしょうか。



### よく噛むことは健康の源

最近は噛まない、噛めない人たちが増えてきています。その背景には、食材の開発や調理方法の工夫によって、食べ物が増え、時代とともに柔らかくなってきている傾向がみられます。

よく噛まないことで、あごの骨が発達せず、歯並びが悪くなったり、歯周病や

むし歯などの歯の病気を引き起こすことにつながります。また、噛み合わせが悪いと、頭痛や肩こりなど、全身の健康状態にも影響を与えます。

よく噛むことで、あごや歯ぐきが強えられ丈夫になります。

### 噛むことの効用

- 味覚の発達を促す
- 口腔内の細菌を抑制し、歯周病やむし歯を予防する
- 元気が湧き、ストレス解消につながる
- 唾液の分泌を促し、胃腸の動きを促進する
- 肥満を防ぎ、生活習慣病を予防する
- 言葉の発音がきれいになり、顔の表情も豊かになる
- 脳の働きを活発にする

硬いもの、繊維質、弾力があるものなど、噛み応えのある食材を取り入れてください！



## 目指そう！ 8020



『80歳になっても20本以上自分の歯を保とう』というのが8020(ハチマルニイマル)運動です。20本以上の歯があれば、ほとんどの食べ物を噛み砕くことができ、おいしく食べることができると言われています。生涯、自分の歯でしっかり噛んで、おいしく楽しく食事をするために、乳幼児期から高齢者に至るまで、それぞれの年代にあった歯の管理を心がけることが大切です。

歯の健康寿命を延ばすためには予防が大切。歯磨きや食習慣、生活リズム、喫煙など日常生活を見直すことも必要です。

8020を目標に、若い頃から歯や歯ぐきの健康づくりに心がけましょう！

問い合わせ 役場保健福祉課(福祉の里総合センター内)保健担当 ☎53-3000

# 全日本ママチャリ 12時間耐久レース

7月30日、今年で14回目となる、2011全日本ママチャリ12時間耐久レースが十勝スピードウェイで開催されました。

全国から288チーム、約2千500人が参加し、レースは1周3千400mの道のりを1チーム、最大6名エンジニアークラス最大10名の選手が交代しながら自転車を漕ぎ続けます。

この日の最高気温は21度台と選手にとっては最高のレース日和。午後5時に岡出村長のスタート宣言と同時にレース開始。参加した選手の中には、アニメなどのキャラクターに扮してパフォーマンスをしたり、サポーターは、本格的な調理器具で炊き出しの準備に取り掛かったりと、更別村の夏の風物となったレースをそれぞれ楽しんでいる様子でした。



当日会場では、村の特産品の開発や研究、カントリーサインにもなっている、どんちゃん」の普及活動などを行っている、どんぐり推進部会が、更別産の小麦をつかったうどんを販売し、好評を博していました。うどんを食べる人は、とてもコシがあつておいしいです。あつさりしていて食べやすいと話してくれました。

また、新製品として新たに『さらべつさんうどん』(乾麺200グラム入り)と『さらべつさんの小麦粉』(中力粉1キログラム入り)を発売し、会場を訪れた人がお土産として買っていく姿がみられました。



『第33回たうんとびくすまつり』がふるさと館広場で開催され、村の味覚やステージショーを楽しもうと、村内外から多くの皆さんが訪れました。

開会前から、さらべつ和牛や野菜、つぶつぶでんぶんなどを買い求める皆さんが長蛇の列をつくり、出店コーナーでは更別産の小麦を使った、うどんやラーメン、更別農業高校生が丹精込めて育てた花、地元飲食店の自慢の一品が販売されました。

また、ステージショーでは海賊戦隊ゴーカイジャーで幕が開き、さらべつかしわ太鼓保存会の演奏、スッチョイサ踊り保存会と更別バトンメイツの演舞、木山卓也さんと健やかクラブの皆さんが十勝トラバン音頭を披露しました。ステージショーの締めは今回初めて行われたカラオケのどじまん。当日受付を行い、我こそはと思う7名が自慢の喉を披露しました。出場者の中には、曲、憧れのハワイ航路に合わせて水兵帽を被って歌う方や本格的な歌唱力で会場をうっとりとし聞き入らせている方など、それぞれの演出で来場者を楽しませました。

まつり最後には、恒例となったお楽しみ抽選会が行われ、当選番号が呼ばれるたびに観客席から一喜一憂の音が聞こえてきました。

8/21

たうんとびくすまつり



会場には村内外から大勢のお客さん

格安の野菜はあっという間に売切れ

玉ねぎ詰め放題コーナーも大人気

親子で大当たり☆



8/1  
~  
8/7

きたほなみ  
を収穫

安定した天候が続ぎ、順調な生育を見た小麦が黄金色に近づき、JAさらべつに出荷する各農場で一斉に刈り取りが行われました。

昨年の8月から9月に種がまかれた秋まき小麦は、一年かけて生育します。これまで『ホクシン』という銘柄が大多数を占めていた更別産の小麦ですが、今回収穫する秋まき小麦から品種改良された『きたほなみ』に全て切り替えられました。

今年の収穫面積は、昨年とほぼ同じ約1千910㌫。期待していた収量まではいかず1万2千㌫となりました。収穫した実はJAの施設で乾燥調整され、広尾町にあるサイロに貯蔵された後、製粉会社に卸され全国各地に運ばれて行きます。



岩手県で行われるインターハイ（全国高校総合体育大会）のウエートリフティング85kg級に出場する更別農業高校3年生の伊藤寛仁くんが上田茂教頭、川畑貴裕監督とともに役場を訪れ、岡出村長と阿部教育長に大舞台での健闘を誓いました。

6月に行われた全道高体連で自己ベストをマークし優勝。2年連続で全国の切符をつかんだ伊藤くんは「昨年の全国大会では、残念な結果でしたが今年は最後のインターハイなので全力で頑張ります」と意気込みを話してくれました。

岡出村長は自己ベストを目指し、自分自身に勝負気持ちで競技に挑んでくださいとエールを送りました。

村商工会青年部が主催する恒例となった、どんぐり村の盆踊りが開催され、大きなやぐらが組まれ、たくさんのお店が並ぶ役場前の特設会場では、暑い夏の夜を楽しもうと大勢の皆さんが集まりました。

日が傾きだしたころ、色鮮やかなゆかた姿の子どもたちが集まりだし、太鼓の音色とともに子ども盆踊りがスタート。スッチョイサ踊り、大人の部のゆかた踊りと続き、民謡の歌声や祭りばやしのリズムに合わせて華麗に踊ります。

同会場で商工会設立50周年記念花火大会も行われ、焼き鳥や焼きそばの香ばしい匂いが立ち込める中、夜空に映し出された大輪の花火の下

8/13 どんぐり村の盆踊り



で、生ビールを片手に楽しそうに会話をしている皆さんの姿が照らし出されています。

8/1 全国一を目指して！



写真右から岡出村長、伊藤くん、阿部教育長、川畑監督、上田教頭

毎年恒例となった上更別小学校PTA（佐藤隆会長）主催の『花火あんどんまつり』が同校グラウンドで開催されました。

会場には、全校生徒が手作りで作った、あんどんが飾られ、和紙には『夢の舞台で三塁打を打ちたいな』や『バドミントンの大会で一勝するぞ』などの夢や目標と、色とりどりのイラストが描かれています。辺りが暗くなり、あんどんの柔らかな明かりに照らされた児童や保護者の皆さんが力作ぞろいの作品に微笑ましく見入っている姿がありました。

まつりの最後には、子どもたちが楽しみにしていた花火が行われ、PTAの皆さんが勢い良く打ち上げる花火に歓声が上がっていました。

8/26

上更小花火あんどんまつり



### お知らせ

#### くりりんセンターの休館日について

『体育の日』10月10日(月)は、くりりんセンターの定期点検整備のため、休館日となっています。くりりんセンターへゴミの持ち込みはできません。

問い合わせ  
くりりんセンター ☎37 - 3550

#### コミュニティプールご利用は9月30日まで

今季のコミュニティプールは9月30日(金)で閉館します。有効にご利用ください。

開館時間  
午前10時～午後8時  
休館日  
火曜日  
使用料(1日)  
大人300円、高校生200円、小中学生100円(村内に居住する高校生以下の方、更別農業高校生は免除)  
問い合わせ  
教育委員会事務局生涯学習推進担当 ☎52 - 3171

#### くらしのよろず無料相談会を開催

くらしのよろず相談会実行委員会では、各分野の専門家(士業)が一堂に集まり、さまざまな相談に対応する『くらしのよろず無料相談会』を開催します。

日時  
9月16日(金) 午前10時～午後4時  
場所  
とちプラザ 1階大集会室  
帯広市西4条南13丁目1番地  
対応専門家  
弁護士、司法書士、税理士、土地家屋調査士、行政書士、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー  
相談内容  
職場でのトラブル、離婚問題、境界争い、ローン返済、相続、年金など。

相談方法  
直接会場にお越しください。専門家が1人につき30分程度、個別面談させていただきます。  
問い合わせ  
帯広商工会議所 ☎25 - 7121

#### 無料調停相談会を開催

帯広調停協会では、調停制度を皆さんに詳しく知ってもらおうと、無料の相談会を開催します。金銭でのトラブルなどの相談を調停委員や弁護士がお受けしますので、お気軽に相談してください。

日時  
10月2日(日) 午前10時～午後4時  
場所  
とちプラザ 1階大集会室  
帯広市西4条南13丁目1番地  
相談内容  
金銭、交通事故、土地建物、夫婦・親子関係、相続の相談など。  
問い合わせ  
釧路家庭裁判所帯広支部  
帯広調停協会 ☎23 - 5141

#### ひとり親家庭の母親を対象にセミナーを開催

母子家庭等就業・自立支援センターでは十勝管内在住の母子家庭や寡婦の母親を対象に参加料無料で仕事に役立つ『ビジネスマナー講座』を開催します。

日時  
10月20日(木)  
午後1時30分～午後3時30分  
場所  
帯広市グリーンプラザ 1階会議室B・C  
帯広市公園東町3丁目9番地1  
講師  
渡邊尚美氏 (Style Direction Spring Palette 代表)  
定員  
10名(先着順)  
応募締切  
10月18日(火)

問い合わせ  
帯広市公園東町3丁目9番地1  
社会福祉法人帯広市社会福祉協議会  
母子家庭等就業・自立支援センター ☎20 - 7751

#### 労働者個人と使用者の間の紛争を調整します

北海道労働委員会では、労働条件や労働問題に関して個々の労働者と使用者の間の紛争を、当事者双方の間に立ち、歩み寄りによる解決を手助けする『個別労使紛争のあっせん』を行っています。費用は掛からず、迅速に対応します。詳しくは北海道のホームページをご覧ください。

このようなときはご利用を  
突然、会社から解雇通告されたが理由に納得できない。  
残業しているのに会社から時間外勤務手当が支払われない。  
職場でセクハラ・パワハラを受けており、会社に申し入れたが改善策を講じてくれない。  
問い合わせ  
あっせん申請 北海道労働委員会事務局 ☎(011) 204 - 5667  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/rd/sms/>  
労働相談 労働相談ホットライン ☎(0120) 81 - 6105

#### 『動物愛護パネル展』と『動物愛護フォーラム』を開催

動物愛護法で9月20日から9月26日までを動物愛護週間と定められています。このことを受け、十勝総合振興局では動物の愛護と適正な飼養について関心と理解を深めてもらおうと『動物愛護パネル展』と『動物愛護フォーラム』を開催します。

パネル展  
日時  
9月20日(火)～9月29日(木)  
開庁時間内  
場所  
十勝総合振興局1階道民ホール  
帯広市東3条南3丁目

フォーラム  
日時  
10月1日(土) 午後1時～午後4時  
場所  
とちプラザ 4階講習室402  
帯広市西4条南13丁目1番地  
内容  
・動物愛護の現状について  
・映画『犬と猫と人間と』上映 など  
問い合わせ  
十勝総合振興局保健環境部 ☎26 - 9031

#### 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験を実施します

病気などやむを得ない事情により義務教育を終了できなかった人などに対し、中学校卒業程度の学力があるかを認定するための試験を実施します。  
願書受付期間  
9月28日(水)まで 9月28日までの消印有効  
試験期日  
11月2日(水)  
合格発表  
12月9日(金)  
その他  
願書の提出方法など詳細については村教育委員会事務局までお問い合わせください。  
問い合わせ  
村教育委員会事務局総務・学校教育担当 ☎52 - 3171

#### 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求をお忘れなく

平成17年4月1日から平成21年3月31日の間において、戦没者にかかる公務扶助料、遺族年金などの年金を受けご遺族が亡くなるなどしたことで、平成21年4月1日において前記年金給付の受給権者がいない場合に、戦没者の死亡当時のご遺族で、最も先順位のご遺族一人が請求できます。  
請求期限  
平成24年4月2日  
給付内容  
額面24万円、6年償還の記名国債

問い合わせ  
役場住民生活課住民生活担当 ☎52 - 2112

#### 悪質な貸金業者にご注意ください

容易にお金を借りられるなどの広告を出したりダイレクトメールを送る業者の中に、無登録で営業を行う貸金業者が多数報告されています。貸金業者を営む者は、登録を必ず受けなければなりません。くれぐれも違法なヤミ金業者にご注意ください。

問い合わせ  
十勝総合振興局環境生活課 ☎27 - 8526

### 募集

#### 戦没者遺児による慰霊友好親善事業の参加者を募集

財団法人日本遺族会は、先の大戦で父などを亡くした戦没者の遺児を対象として、戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行い、同地域の住民と友好親善を図る『戦没者遺児による慰霊友好親善事業』への参加者を募集しています。

実施地域	実施時期	募集期限
ソロモン諸島	11月26日～12月3日	10月11日
マリアナ諸島	1月13日～1月19日	12月1日
東部ニューギニア	2月11日～2月18日	12月22日
トラック諸島	2月18日～2月25日	12月26日
パラオ諸島	2月18日～2月25日	12月26日
フィリピン	3月2日～3月9日	1月16日
ミャンマー・インド	3月12日～3月21日	1月27日
中国・バシー海峡	3月21日～3月29日	2月6日

戦没者遺児でない方や、戦没者が亡くなられた地域以外の参加はできません。  
申し込み・問い合わせ  
財団法人日本遺族会 ☎(03) 261 - 5521

### 国民年金

#### 役場で年金加入記録が確認できます

日本年金機構では、国民年金や厚生年金の加入者や受給者が、ご自宅のパソコンなどを利用して年金加入記録や将来受け取る年金見込額を確認できるサービス『ねんきんネット』の運用を今年の2月から開始しています。

インターネットのご利用が難しい方には、年金事務所だけでなく、役場住民生活課でも簡単な手続きで年金加入記録を確認することができます。

窓口で申込書を記入していただき、ご本人確認後に年金加入記録を印刷したものをお渡しします。

必要書類  
本人が来る場合  
・本人確認書類(運転免許証、パスポート、住民基本台帳カードなど)  
・基礎年金番号や照会番号が分かるもの(年金手帳や年金定期便)  
代理人が来る場合  
・代理人本人確認書類(運転免許証、パスポート、住民基本台帳カードなど)  
・基礎年金番号や照会番号が分かるもの(年金手帳や年金定期便)  
・委任状(申込者本人の署名捺印が必要です)

問い合わせ  
役場住民生活課戸籍・住民基本台帳担当 ☎52 - 2112

### 税

#### 固定資産税第2期、国民健康保険税第3期納期限は9月30日(金)

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

問い合わせ  
役場住民生活課固定資産税・住民税担当 ☎52 - 2112

海と大地

子どもふれあい交流2011



今回で21回目を向かえる地域間子ども交流事業。宮城県東松島市の子もたちと村の子もたちが交互に訪問しホームステイやレクリエーションなどの体験から友情と交流を深める目的で行われています。今年、7月29日(金)から8月1日(月)にかけて宮城県東松島市から10名の小学生が来村。村からは8名の小学生が参加し、どんぐり子供交流委員会のスタッフが中心となり、キャンプや農業体験などが行われました。子どもたちの元気溢れる交流の様子を紹介します。

1 ようこそ更別村へ!

2 楽しそうにみんなで班旗づくり

3 協力しあったミニ運動会

4 大田農場(南地区)でイモ掘り体験

5 更別農業高校で牛舎見学

6 ホストファミリーとご対面

7 十勝の食材を使った料理教室

8 手作り料理を囲んでパーティー

9 さよならじゃなく、またねだよ。  
あつという間の3泊4日。楽しい思い出をありがとう!

問い合わせ 教育委員会事務局生涯学習推進担当 ☎52-3171

各課・施設の手話 → ふるさと館 ☎52-2211 → 老人保健福祉センター ☎53-3500  
→ どんぐり公園 ☎52-2406 → 生活支援ハウス ☎52-2233

### 農村地区の合併処理浄化槽を村が設置します

村では農村地区を主な事業地域として、快適な生活環境づくりをめざし、住宅の浄化槽の設置と管理を村が行う合併処理浄化槽設置事業を推進しています。

公共水域の水質汚濁を防止、安心・安全な生活環境を維持するためにも合併処理浄化槽の設置をご検討ください。

対象地域  
更別・上更別市街を除く地域  
住宅新築を伴う場合  
工事のスケジュール調整のため、早めの申し込みをしてください。

問い合わせ  
役場建設水道課上下水道担当 ☎52-5200

人槽	使用料(月額)	受益者分担金(5年払)	
		1期当り(年4回)	総額
5人槽	4,000円	5,500円	11万円
7人槽	4,500円	7,000円	14万円
10人槽	5,100円	9,000円	18万円

使用を開始した翌月から表の金額を定額で納付することになります。受益者分担金は合併処理浄化槽を設置した翌年度から納付が始まり一括払いも可能です。

Atorie アトリ絵

柏町 さいとう 齋藤 さあや 咲彩さん

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

**北里大学獣医学部 犬部**  
片野 ゆか / 著

行き場を失った犬や猫を救うために奔走する現役獣医学部生たち。青森県十和田で繰り広げられる実録青春ストーリーです。

**プロ野球視聴率 48.8%のベンチ裏**  
植原 寛己 / 著

今だから言えるプロ野球事件簿、ルーキーに言っておきたいプロの厳しさなど、プロ野球を観るための面白ネタが満載されています。

**10代のためのケータイ心得**  
スメリー・服部元信 / 漫画  
こころ部 / 編

安心・安全に携帯電話を使うために知らなければならぬ大切なことを漫画形式で取り上げている子どものためのケータイ教科書です。

### 更別農業高校

『東北北海道技術競技大会に出場して』  
農業科3年 三澤 凌  
農業鑑定競技19人、家畜審査競技6人、フラワーアレンジメント競技2人の合計27人が帯広農業高校を会場に行われた東北北海道技術競技大会に出場してきました。

練習では鑑定競技(家畜審査、フラワーアレンジメント)の3部門に分かれ学習をしてきました。鑑定競技では、基準書を元に鑑定ノートを作成したり先生に教えてもらいました。家畜審査では、ジエネティクス北海道北見事業所の間木野さんの講習を受けさせていただきました。フラワーアレンジメントは、実際にアレンジメントを先生に教えていただきました。

一緒に出場する仲間、先生たちと夏休みを返上して勉強しました。その結果、農業鑑定競技では4人が入賞、乳牛審査では1人が入賞、乳牛審査団体では最優秀賞を獲得することができました。その中から鑑定競技で4人が長崎県を会場に行われる農業クラブ全国大会に出場します。(乳牛審査は全国大会がないため一緒に挑戦した仲間、そして全更農生の代表だという意識を持って大会へ望みたいと思っています。出場するからには結果にもこだわっていきたくです。ベストを尽くして入賞できるように頑張ります。

3年生は最後の大会になってしまいました。1・2年生をうまくまとめて次年度へ繋げる役目を果たせたらと思っています。1・2年生は来年度以降を見据えた活動ができたと思います。

協力していただいた先生たちには、地域大会に出場した生徒全員が感謝しています。ありがとうございました。

各課・施設の手話 / メールアドレス → 教育委員会 ☎52-3171 ☐kyoui@sarabetsu.jp  
→ 南十勝消防事務組合更別支署 ☎52-2201 ☐syoubou@sarabetsu.jp

## 戸籍の窓口

希望者のみ掲載

### 誕生おめでとう

と ざわ め い 依ちゃん  
斗 澤 芽 依ちゃん  
学 ・奈生子( 錦 町)

まつ い よし ひで  
松 井 善 英ちゃん  
善 典 ・のりこ( 曙 町)

さ とう はる き  
佐 藤 陽 稀ちゃん  
雄 大 ・エリカ( 曙 町)  
保護者敬称略

### お悔やみ申し上げます

仲 川 ツ ヤさん 89歳  
( 更別 東 区)

及 川 たき子さん 88歳  
( 東 栄 区)

山 下 利 行さん 80歳  
( 曙 町)

## 人のうごき

### 人 口

3,425人( - 7人)【内外国人26人】  
男1,698人( - 2人)

【内外国人14人】

女1,727人( - 5人)

【内外国人12人】

### 世帯数

1,277世帯( - 1)

【内外国人10世帯】

8月1日現在。( )内は前月比。

## 地域安全ニュース

更別村の交通死亡事故死ゼロ記録  
758日( 8月31日現在)

8月の村内交通事故件数

4件( 人身2件 物損2件)

【今年1月からの計48件】

8月の村内犯罪発生件数

2件

【今年1月からの計13件】

こうほう

Kouhou  
Sarabetsu  
さらべつ

9

平成23年9月12日発行( No. 588 )

更別村役場 住民生活課

〒089 - 1595 北海道河西郡更別村

字更別南1線93番地

☎0155( 52 )2111( 代表 ) ☎0155( 52 )2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール( 代表 ) [village-office@sarabetsu.jp](mailto:village-office@sarabetsu.jp)

( 村長 ) [seiji-okade@sarabetsu.jp](mailto:seiji-okade@sarabetsu.jp)

## ご厚意に感謝します

小田 隆さんから3万円の寄付をいただきました。寄付金は「自然環境の保全、緑化に関する事業」に使わせていただきます。

小田 弥生さんから2万円の寄付をいただきました。寄付金は「その他の目的達成のため村長が必要と認める事業」に使わせていただきます。承諾者のみ受付順に掲載

## 声のテーブル ～公聴ハガキをいただきました～

### 質 問

インターネットが生活の一部として使われるようになったこの時代、更別村はADSL回線を使用していますが、光回線の整備はいつ行われるのでしょうか？月日が経つにつれてとても不便に感じています。

### 回 答

村では、平成17年から中心市街地域( 半径約4キロメートル )で、NTT東日本のADSL回線が使用できるようになりました。そのほかの地域では、ADSL回線が使用できない状況で、地域において情報格差( デジタル・ディバイド )が生じていることから、平成20年に長距離高速無線網を整備し、村内全域で高速インターネットの環境を整えました。しかし、平成22年現在では、長距離高速無線網を含め、村のADSL普及率は3割程度にとどまっているのが現状です。

光回線は、光ファイバーを使用し超高速のデータ通信を行えますが、整備費用が非常に高額で、利用する世帯全てに回線を敷設しなければなりません。本村のような人口密度が薄い地域においてはADSL普及率から見ても現段階では整備できる状況にありません。

今後は、国や道の動向、民間企業( NTT東日本など )の導入計画を見ながら検討していきますのでご理解願います。

問い合わせ 役場企画政策課地域開発担当 ☎52 - 2114



東松島市の「子ども交流団」が来村した初日、宿泊先のさらべつカントリーパークでキャンプファイヤーが行われました。  
高く積まれた薪に、タイムツをもった子どもたちが一斉に点火。勢い良く燃える炎を囲み、フォークダンスがスタートしました。  
キャンプファイヤーは「親睦の火」とも呼ばれる交流を深める儀式。ひとりひとりが手を取り合い、大きな円を描きより一層、絆を深めているようにみえました。

表紙の風景